



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2022
令和4年
11-20
No. 603

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



モズ(百舌鳥)

呼んでる口笛 もずの声♪

童謡「ちいさい秋みつけた」に登場する
もず
百舌鳥は日本の秋を代表する鳥です。
信州には「モズの高鳴き七十五日」とい
ことわざ
う諺があります。この鳥のキーキ
ーという鳴き声が聞かれてから二カ月
もすれば、もう霜の季節がやってくる
という言い伝えです。

これに従えば、今年の冬は例年より早
く寒さも厳しくなりそうですが…。

さみ もず
「淋しさに 鵲がそら鳴き したりけり」

小林 一茶

- 長野しんきん
月例調査レポート ……2
- 企業アンケート
環境に配慮した
「企業経営」② ……6
- インタビュー
変革期の経営ビジョン ……8
- 北信濃
明治時代の風景(8) ……10
かるかや山西光寺

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



長野信用金庫

概況 全産業

生産は3カ月連続の上昇 前年同月比は3カ月連続の上昇

◇2022年8月の長野県鉱工業指数

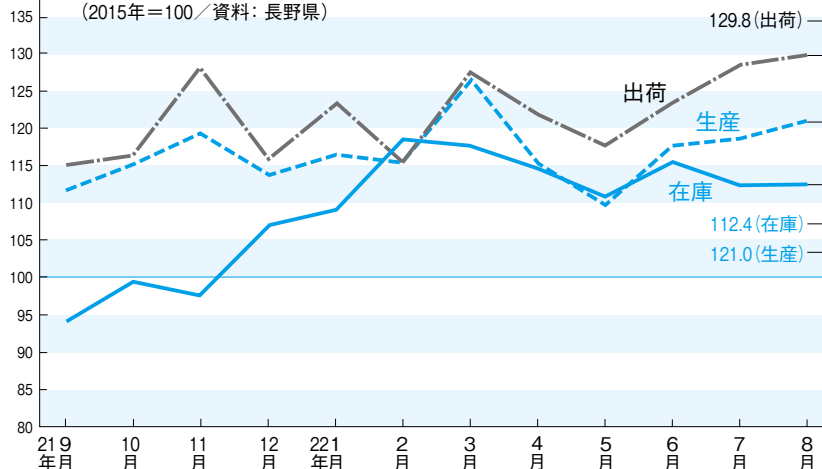
(速報：季節調整済指数)

生産は121.0(前月比+1.9%)で3カ月連続の上昇、出荷は129.8(同+1.2%)で3カ月連続の上昇、在庫は112.4(同+0.1%)で2カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は111.7(前年同月比+9.3%)で3カ月連続の上昇、出荷は118.7(同+8.1%)で3カ月連続の上昇、在庫は112.5(同+21.4%)で11カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…化学、情報通信機械、電気機械など6業種
低下…はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、プラスチック製品など11業種
- [出荷] 上昇…化学、電気機械、金属製品など10業種
低下…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、木材・木製品など7業種
- [在庫] 上昇…情報通信機械、電気機械、電子部品・デバイスなど9業種
低下…その他、化学、プラスチック製品など7業種

月例調査

全産業の「売上高」は減少

前回調査 2022年8月

◇10月調査による「北信地区の経済状況」

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(39%)が横ばい、「減少」割合(30%)が3ポイント増加、「不変」割合(31%)は4ポイント減少、全体としては減少の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合			矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き)			改善 不変 悪化		
全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
	38.5 →	38.5	35.0 →	31.2	26.5 →	30.3	→	→
製造業	38.1 ↘	38.1	33.3 ↗	33.3	28.6 →	28.6	↘	↘
建設業	31.3 →	31.3	37.4 ↘	37.4	31.3 ↗	31.3	↘	↘
卸小売業	38.1 ↗	38.1	28.6 ↘	28.6	33.3 →	33.3	↗	↗
サービス業	62.5 ↗	62.5	25.0 ↘	25.0	12.5 →	12.5	↗	↗
輸送業	50.0 →	50.0	10.0 ↘	10.0	40.0 ↗	40.0	↘	↘
外食業	62.5 ↘	62.5	12.5 ↗	12.5	25.0 ↗	25.0	↘	↘

200社(回収率87.7%)	30人未満 74.5%	30人以上 25.5%
196社(回収率86.0%)	30人未満 73.5%	30人以上 26.5%
64社(回収率79.0%)	30人未満 62.5%	30人以上 37.5%
64社(回収率90.1%)	30人未満 85.9%	30人以上 14.1%
42社(回収率87.5%)	30人未満 83.3%	30人以上 16.7%
8社(回収率100.0%)	30人未満 87.5%	30人以上 12.5%
10社(回収率100.0%)	30人未満 30.0%	30人以上 70.0%
8社(回収率80.0%)	30人未満 50.0%	30人以上 50.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品・金属加工・電気機械が増加するも、全体は減少

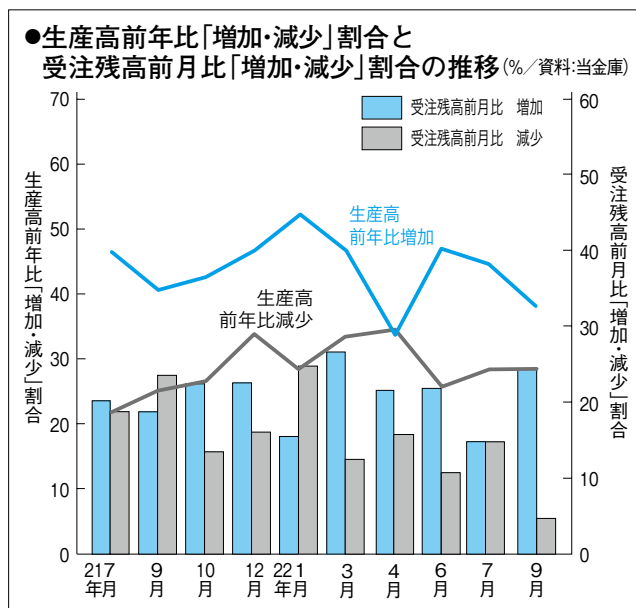
製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（38%）が7%減少、「減少」割合（29%）が1%増加、「不変」割合（33%）が6%増加、全体として減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合（%）

製造業	前回	44.8	26.8	28.4
	今回	増加 38.1	不変 33.3	減少 28.6
食料品		46.7	20.0	33.3
金属加工		50.0	41.7	8.3
一般機械		25.0	37.5	37.5
電気機械		0.0	66.7	33.3
自動車部品		50.0	50.0	0.0
精密機械		28.6	42.8	28.6

【業種別】 増加…食料品・金属加工・電気機械
減少…一般機械・自動車部品・精密機械

【機械稼働】	（前回比）稼働率	上昇
	上昇割合	（18%）→ 20%
	下降割合	（10%）→ 9%
【受注状況】	受注量（前回比）	上昇
	増加割合	（15%）→ 24%
	減少割合	（15%）→ 5%
	受注残高（1.7ヵ月）	→ 2.0ヵ月
【受注基調】	（前回比）	上昇
	上昇割合	（12%）→ 22%
	下降割合	（18%）→ 11%



企業からのコメント

★受注先からの部品材料の遅延等によって影響がある。
また入った時は即、納品になるので残業や深夜労働等も発生し、コスト的には芳しくない傾向にある。

（プリント基板）

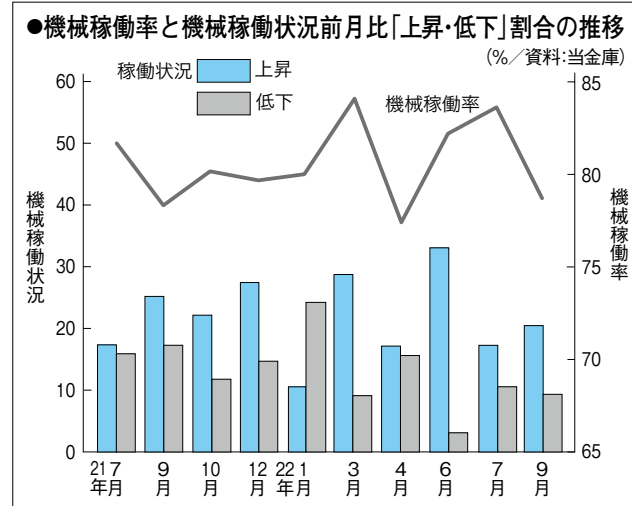
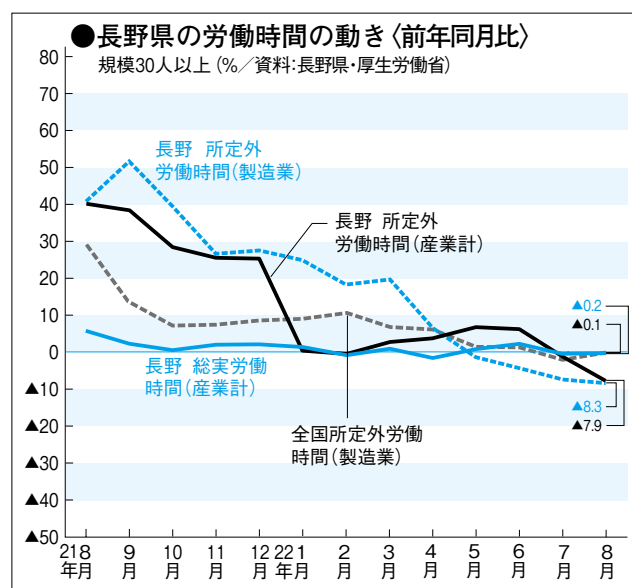
☆★新型コロナの感染者数が一時期に比べて減少し、人出も増加してきていることから、食品や土産関係のラベルが動いているように感じる。しかし、短期の依頼がとて多い。

（シール・ラベル）

☆★コロナ禍による売上げの減少から、ようやく脱皮の時を迎え、受注は順調に回復しているが、円安の進行と外的要因の影響から、物品の入手に苦戦している。

（検眼器）

☆★自動車業界は半導体の供給が回復してきており、当社の受注も徐々に増加している。しかし機械稼働率はいまだ100%に至らない。（ミッション内蔵部品）



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」土木・建築・各種設備が減少して、全体も減少

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(31%)が1割減少、「減少」割合(31%)が7割増加、「不変」割合(37%)が8割減少、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	31.7	44.5	23.8
	今回	増加 31.3	不変 37.4	減少 31.3
総合建設業		45.5	36.3	18.2
土木工事業	7.7	38.5	53.8	
建築業	19.0	57.2	23.8	
各種設備業		40.0	20.0	40.0

【業種別】 横ばい…総合建設

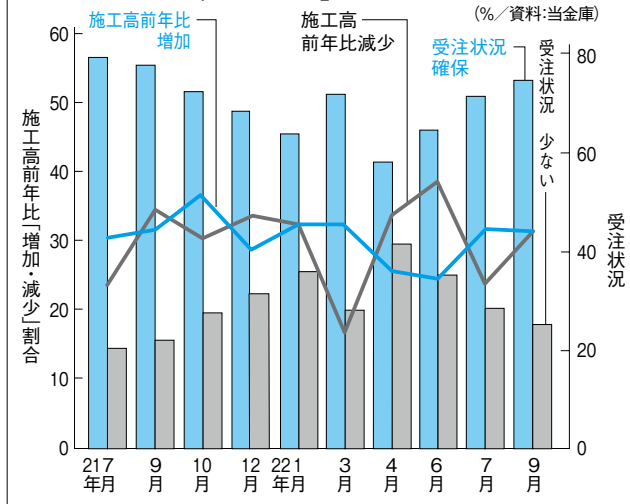
減少…土木工事・建築・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 改善

「多い・適正」割合 (71%) → 75%

「少ない」割合 (29%) → 25%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

☆★相変わらず、材料費の高騰と納期の遅れで生産効率が悪い。加えて粗利確保も厳しいことにより、受注残高とは裏腹に収支はトントン。(総合建設業)

☆★売上高・受注残ともに前年を上回っているが、進捗遅れの現場も散見される。工事が重なった場合、人手不足も想定され、原価割れが懸念される。

(内装仕上工事)

9月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月～9月の発注合計は、1,305.7億円(前年同期比▲19.4%)となりました。前年比マイナスは「国」の232.9億円(同▲34.6%)、「県」の421.7億円(同▲7.5%)、「その他」の236.1億円(同▲40.9%)で、プラスは「市町村」の408.5億円(同+1.5%)です。

北信地区市町村の発注合計は110.1億円(同+18.8%)で、うち長野市は51.8億円(同+47.4%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2022年9月/2022年4月～9月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証㈱)

		2022年9月	前年同月比	2022年4月～9月	前年同月比
長野県	国	2,482	+34.7%	23,292	▲34.6%
	県	2,950	▲33.9%	42,171	▲7.5%
	市町村	6,523	▲20.6%	40,850	+1.5%
	その他	936	▲52.0%	23,606	▲40.9%
	合計	12,890	▲6.0%	130,568	▲19.4%
北信地区	市町村	1,536	▲19.1%	11,014	+18.8%
	(内長野市)	594	▲24.6%	5,180	+47.4%

4～9月の新設住宅着工戸数

長野県の4～9月の新設住宅着工戸数は6,225戸(前年同月比+0.1%)でした。持家が3,443戸(同▲10.5%)、貸家が1,621戸(同+7.1%)、分譲が1,152戸(同+35.1%)、給与が9戸(同+80.0%)です。

北信地区の4～9月の新設住宅着工戸数は1,565戸(同▲13.4%)でした。持家が902戸(同▲15.2%)、貸家が374戸(同▲18.9%)、分譲が287戸(同+2.1%)、給与が2戸(同+100.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2022年9月/2022年4月～9月累計)

(資料: 長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	9月	127戸	81戸	28戸	0戸	236戸
	(内長野市)	67戸	65戸	19戸	0戸	151戸
	前年同月比	▲27.0%	+55.8%	▲34.9%	—	▲12.3%
	(内長野市)	▲39.1%	+35.4%	▲45.7%	—	▲21.8%
	4～9月	902戸	374戸	287戸	2戸	1,565戸
	前年同月比	▲15.2%	▲18.9%	+2.1%	+100.0%	▲13.4%
長野県	9月	508戸	239戸	241戸	1戸	989戸
	前年同月比	▲26.7%	▲18.2%	+97.5%	皆増	▲10.7%
	4～9月	3,443戸	1,621戸	1,152戸	9戸	6,225戸
	前年同月比	▲10.5%	+7.1%	+35.1%	+80.0%	+0.1%

卸小売業

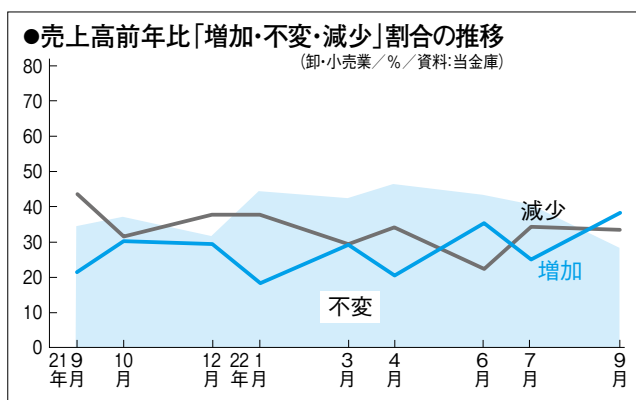
卸売業、小売業

「売上高」卸売・小売ともに増加

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(38%)が13ポイント増加し、「減少」割合(33%)が1ポイント減少、「不変」割合(29%)が12ポイント減少し、全体として売上げは増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	25.0	40.9	34.1
	今回	増加 38.1	不変 28.6	減少 33.3
卸 売 業		29.4	47.1	23.5
小 売 業		44.0	16.0	40.0



【業 種 別】 増加…卸売業・小売業

9月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……104.2(13カ月連続プラス)

(前月比+0.2%、前年同月比+3.8%)

上昇…「家具・家事用品」「被服及び履物」「光熱・水道」
「交通・通信」「諸雑費」

下落…「教養娯楽」「食料」「保健医療」「住居」

◇生鮮食品を除く総合指数…104.0(14カ月連続プラス)

(前月比+0.2%、前年同月比+3.8%)

企業からのコメント

☆★新型コロナも少しずつ落ち着いてきて、長野市内でも各種スポーツイベントが開催されるようになってきた。一日でも早くコロナ前の売上げに戻る日が来ることを祈っている。(スポーツ用品)

★いろいろな物が値上げされる中“花物”にまでお金を回す余裕がない風潮を最近強く感じる。また、商品に値上げ分を転嫁できない状況もある。(花鉢)

★善光寺御開帳後の売上げ減少だけではなく、物価高や不景気・新型コロナのためか、高齢の観光客が非常に少なくなっている感じがする。(土産品)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービスは増加、輸送・外食はともに減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は13ポイント増加の63%、「減少」割合は横ばいの13%、「不変」割合は13ポイント減少の25%と、売上げは増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は横ばいの50%、「減少」割合は20ポイント増加の40%、「不変」割合は20ポイント減少の10%と、売上げは減少の状況。タクシーは横ばい、運輸は減少です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は25ポイント減少の63%、「減少」割合は13ポイント増加の25%、「不変」割合は13ポイント増加の13%と、売上げは減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比29ポイントの減少ですが、前年同月比は37ポイントの増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が7ポイント増加の29%、「引合いやや増加」が43ポイント増加の43%でした。

企業からのコメント

★年末年始の“おせち”用食材の価格が高騰しているうえに、品薄状態にある。こんなところにも、ロシア・ウクライナ紛争の影響が及んでいる。(日本料理店)

★人件費、燃料等の上昇分をいかに価格転嫁するかが最大の課題だが、構造的に立場が弱く進まないのが現状。

★原油の高騰や自動車関連取引先の停滞はあるが、全体的な荷動きは回復傾向にある。(以上トラック輸送)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	50.0	37.5	12.5
	今回	増加 62.5	不変 25.0	減少 12.5
輸送業	前回	50.0	30.0	20.0
	今回	50.0	10.0	40.0
うちタクシー業		100.0	0.0	0.0
うち運送業		28.6	14.3	57.1
外食業	前回	87.5	0.0	12.5
	今回	62.5	12.5	25.0

SDGsの取り組み

「すでに取り組んでいる」20% 「これから取り組む予定」35%
「内容が分からない」14% 「全く知らない」2% 「その他」2%
「取り組む予定はない」23%

SDGsに取り組む際の課題

「人材がいらない」24% 「取り組み方法が分からない」23%
「取り組む意義・メリットが不明」19% 「課題はない」15%
「従業員の理解が得られない」3% 「その他」3% 「取り組む予定はない」9%

企業アンケート
環境に配慮した
「企業経営」②
2022年9月調査

SDGsの取り組み 「すでに取り組んでいる」は20%に過ぎず、「これから取り組む予定」が35%、「内容が分からない」が14%、「全く知らない」が2%、「取り組む予定はない」は23%でした。

SDGsに取り組む際の課題 「人材がいらない」が24%、「取り組み方法が分からない」が23%、「取り組む意義・メリットが不明」が19%、「従業員の理解が得られない」が3%、「その他」が3%で、「課題はない」は15%、「取り組む予定はない」は9%でした。

SDGsの取り組み

「すでに取り組んでいる」20%
「これから取り組む予定」35%
「内容が分からない」14%
「取り組む予定はない」23%

「SDGs(持続可能な開発目標)に関して、企業と

して取り組んでいるか」を聞きました。

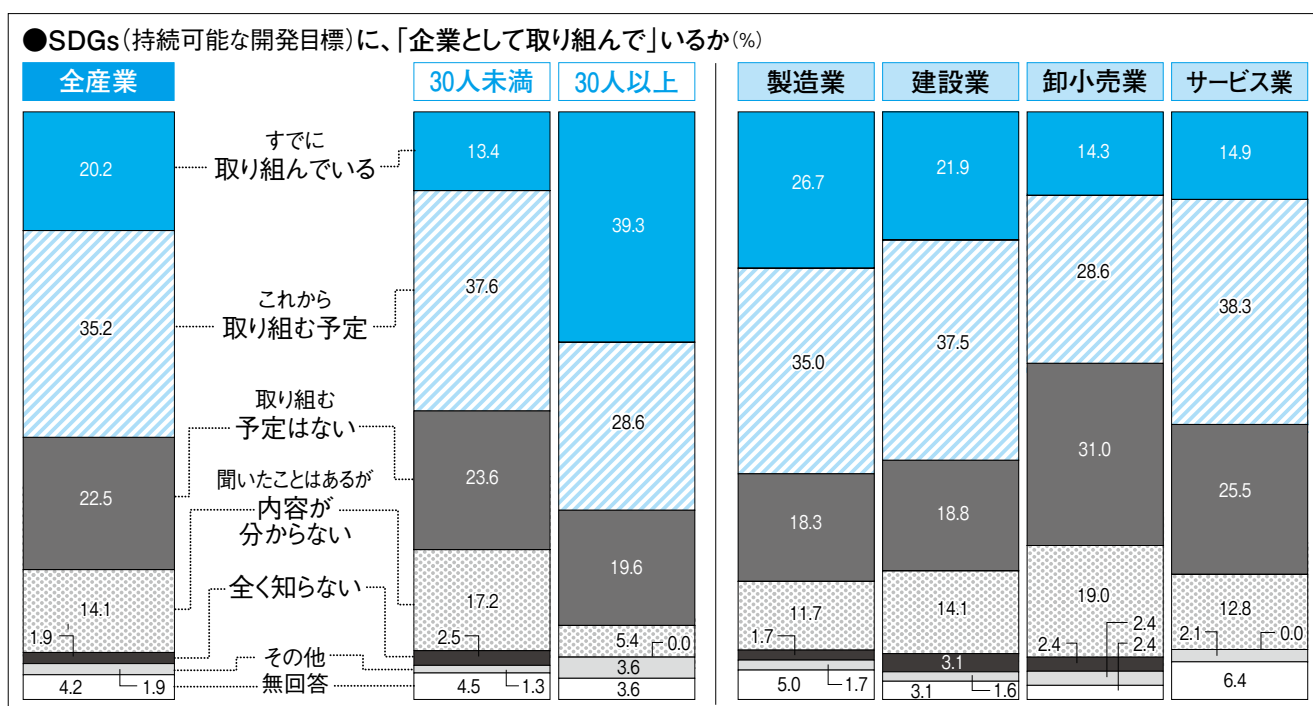
「すでに取り組んでいる」は20%に過ぎず、「これから取り組む予定」が35%、「聞いたことはあるが、内容が分からない」が14%、「全く知らない」と「その他」がそれぞれ2%、「取り組む予定はない」が23%でした。

従業員規模で見ると、30人未満は「これから取り組む予定」(38%)が9割、「聞いたことはあるが、内容が分からない」(17%)が12割、それぞれ30人以上より高くなっています。30人以上は「すでに取り組んでいる」(39%)が26割、30人未満より高くなっています。

業種別

「すでに取り組んでいる」製造業トップ

◇4業種の状況



製造業 「すでに取り組んでいる」(27%)は4業種の中でトップです。

建設業 「全く知らない」(3%)はトップで、「これから取り組む予定」(38%)と「すでに取り組んでいる」(22%)、「聞いたことはあるが、内容が分からない」(14%)が2番目です。

卸小売業 「取り組む予定はない」(31%)と「聞いたことはあるが、内容が分からない」(19%)がトップで、「全く知らない」(2%)が2番目です。

サービス業 「これから取り組む予定」(38%)はトップで、「取り組む予定はない」(26%)が2番目です。

SDGsに取り組む際の課題

- 「人材がいない」24%
- 「取り組み方法が分からない」23%
- 「取り組む意義・メリットが不明」19%
- 「課題はない」15% 「その他」3%
- 「取り組む予定はない」9%

「SDGs(持続可能な開発目標)に関して、取り組む際の課題は何か」を聞きました。

「人材がいない」(24%)がトップで、「取り組み方法が分からない」(23%)が2番目、「取り組む意義・メリットが不明」(19%)が3番目で、以下、「課題はない」(15%)、「取り組む予定はない」(9%)となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「課題はない」

(17%)が6割、「取り組み方法が分からない」(24%)が5割、「取り組む予定はない」(11%)が5割、それぞれ30人以上より高くなっています。30人以上は「人材がいない」(29%)が7割、「取り組む意義・メリットが不明」(23%)が6割、「その他」(9%)が8割、30人未満より高くなっています。

業種別

建設業は「3項目」でトップ

◇4業種の状況

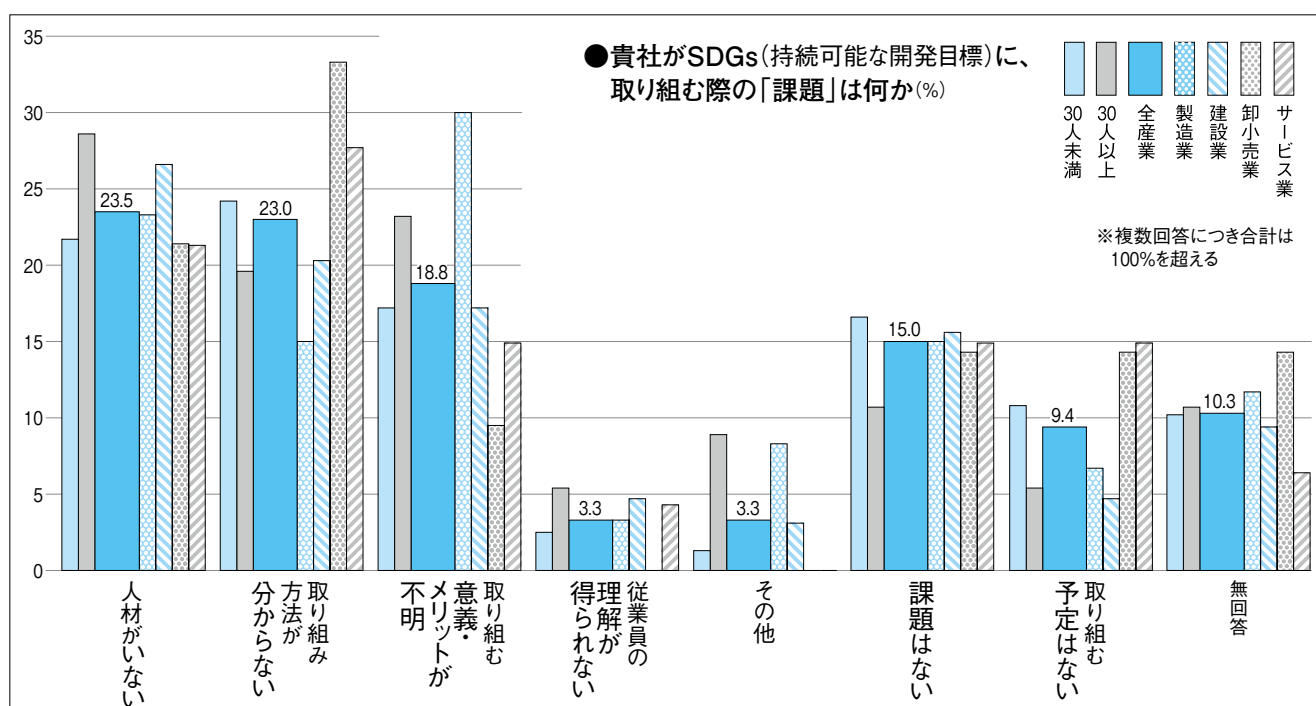
製造業 「取り組む意義・メリットが不明」(30%)はトップで、「人材がいない」(23%)と「課題はない」(15%)が2番目です。

建設業 「人材がいない」(27%)、「課題はない」(16%)、「従業員の理解が得られない」(5%)はトップで、「取り組む意義・メリットが不明」(17%)が2番目です。

卸小売業 「取り組み方法が分からない」(33%)はトップで、「取り組む予定はない」(14%)が2番目です。

サービス業 「取り組む予定はない」(15%)はトップで、「取り組み方法が分からない」(28%)と「従業員の理解が得られない」(4%)が2番目です。

◇次号は「SDGs推進に向けて期待する支援」と「SDGs・地球温暖化対策に企業が取り組むこと」を予定





継承する創造力と開拓精神で 未来社会へ貢献する

株式会社ショーシン
代表取締役会長 兼 社長
山岸 由子さま

●創業の経緯をお聞きます…

創業者である山岸春夫が、1949年(昭和24)に木炭自動車の整備工場を個人で起業したのが始まりです。その後、農業が盛んな土地柄を考慮してガーデントラクターの製造を始めました。スピードスプレヤーの開発に至ったのは1956年(昭和31年)のこと。

狭い日本のリンゴ畑で、大きな外国製のけん引式防除機で、作業している栽培農家の苦労を垣間見たからです。当時からリンゴ畑の農薬散布は大変な作業でした。手作業による手間のかかる散布だったり、一部の篤農家はトラクターでアメリカ製の大きな防除機をけん引して作業をしていました。「リンゴ農家の過酷な消毒作業を楽にしてあげたい」という思いから、自社のトラクターに薬液タンクを一体化したものを発案。試行錯誤を重ねたのち、現在の原型となる日本で最初の「自走式スピードスプレヤー」を開発し、1959年(昭和34)に昭信自動車工業(株)を設立しました。

●業務の概要についてお聞きます…

果樹園用の農業用薬剤散布車(スピードスプレヤー)の開発・製造・販売をメインに行っています。ほかにも畑で楽に作業をするためのEV作業台車やスキー場向けの大型草刈機、自走式薪割り機なども製造・販売しています。

当社の製品づくり全てに共通するテーマは、農家の方への安全かつ快適な作業環境の提供というものです。それゆえ車両の“安全性と快適性”には最大限の力を入れています。当社の車

両の特徴のひとつは、「車高が低い」ということ。超低車高の車両は、リンゴ畑では枝が当たりにくく、また、ブドウやナシの棚下防除作業も安全に実施することを可能にしました。

超低車高の赤いボディーから一部ソーシャルメディアでは「畑のフェラーリ」とも呼ばれ、2012年のグッドデザイン賞を受賞しています。さらに、自動車では当たり前に付いているサスペンションを搭載したことも特徴です。そのため、荒れた路面での走行安定性が良くなりました。また、乗り心地も良くなったことで運転者の疲労削減にもなり、ボディーへの振動も抑えられるために、車両の耐久性向上にもつながっています。

また「3輪のスピードスプレヤー」も当社独自のものです。不安定に思われますが、ホイールベースを長く出来るので走行安定性が良く小回りも利きます。スピードスプレヤーのメーカーは国内では当社のほかに2社あり、それぞれ特徴ある製品づくりをしています。

青森県のリンゴ農園では、当社製品が7割のシェアを誇っています。その青森の農園の強い要望に応えるため、当社のみが後輪にダブルタイヤを採用しています。しかし、専用設計になるとコストもアップしてしまいますが、細かいお客様のニーズに応えたからこそ、7割のシェアを獲得できたものと思います。

ほかに、空気を取り込むファンを改良し、「湾曲ファン(特許取得)」を開発しました。それぞれの羽根をゆるやかに湾曲させたことにより、風の乱流を起こして、葉の裏表にまんべんなく農薬を散布することを可能にし、音も抑えられることから騒音対策にもつながっています。最近では、農園の近くにも住宅があるのが当たり前ですから、騒音問題や農薬が飛び散らないことは重要な課題です。これを解決すべく「電動遮断板(特許取得)」も開発しました。また、4輪

駆動や電子制御の4WS、コクピットのような運転席の「キャビン式」を導入したのも当社が日本で最初です。

製品づくりには、“お客様からの声”を大切にしています。時代の変化、農家のニーズの変化に対応して、デザイン・設計からはじまり、部品の削り出し、組み立てはもちろん、販売やアフターサービスまでの全てを自社で行っていることも当社の強みだと思っています。

●コロナ禍の影響についてお伺いします…

物流が滞り、エンジンや半導体の供給不足によって、納期の遅れが発生しました。さらに、今年になってウクライナ紛争と円安の影響により材料が高騰、部品メーカーからの値上げ要請が寄せられ、当社も秋に製品の価格改定を実施



当社製品第1号の「ガーデントラクター」



最新車両と開発スタッフ

しました。

●今後の夢や方針などをお聞かせください…

取り巻く環境は厳しいですが、「ピンチをチャンス」と捉え、創業者が「過酷な農作業から農家の皆さんを開放したい」との思いから「モノづくり」を行ってきた歴史を思い起こし、社員一丸となって、農家の皆さんに寄り添った製品を開発、「未来の農業」に貢献していきたいと考えています。昨今は運転免許証がオートマ限定であったりして、マニュアル操作に不慣れな方もいます。農業機械の操作が難しいという声も聞かれますが、政府が推進する「スマート農業」にも応えるべく製品づくり、しいては地域全体の活性化に役立つ農業機械づくりを目指し、それをつくる当社の若手社員にも地域に貢献している製品を作っているという自負を持てるようになってほしいと思っています。

また、SDGsの観点から、プラスチック材の使用量低減やリサイクル材の採用など、環境問題にも配慮した経営を実施していきたいと思っています。

●事業の概要

設立 1959(昭和34)年
資本金 9,800万円
代表者 山岸由子
従業員 145名(男124名・女21名)
業務 特殊自動車、農業用薬剤散布車の開発、設計、製造、販売、整備
所在地 長野県須坂市小河原2156
URL <http://www.shoshin-ss.co.jp/>

●沿革

昭和24(1949)年 昭信自動車整備工場として発足
昭和31(1956)年 自走式スピードスプレイヤーを開発
昭和34(1959)年 昭信自動車工業株式会社 設立
平成3(1991)年 (株)ショーシンに社名変更
平成9(1997)年 低車高フルキャビン車(SS)を開発
平成13(2001)年 湾曲ファン搭載SSを開発(特許取得)
平成24(2012)年 農業機械メーカー初のグッドデザイン賞金賞受賞
平成28(2016)年 創業60周年

北信濃 明治時代の風景

(8) かるかや山西光寺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治13年(1880)にできた『妻科村誌』の、かるかや山西光寺の図です。

かるかや山西光寺

明治10年代の、かるかや山西光寺(現長野市北石堂町)の図です。「西光寺」という寺が長野市内には6寺もあることから、「かるかや山」という山号で呼ばれる寺です。

「刈萱山」または「苧萱山」と書くのが正式ですが、読みにくいので「かるかや山」と表記することが多く、交差点やバス停の名称も「かるかや山前」となっています。交差点やバス停の名称になるほど、地元では「かるかや山^{さん}」が親しまれています^{やま}が、旅行者には「かるかや山って何?」と不思議な

印象を与えるようです。

絵を読む

かるかや山西光寺は、旧北国街道である中央通りに面しています。左が善光寺方面の北、右が長野駅方面の南です。現在は入口に門があって、門だけが道に面していますが、元々はこのように門がなくて、境内全体が道に面していました。善光寺参りの旅人が必ず立ち寄る寺でした。

入口に常夜灯(石灯籠)があって、両側に九層の石塔が描かれています。これは刈萱道心と石童丸(石堂丸)の墓で、昔からかるかや山西光寺のシンボルのようになっていました。

入口から本堂まで石畳があり、その上に参拝する人々が描かれています。明治時代になっても風俗はまだ江戸時代と変わっていないようです。石



『妻科村誌』(長野県立歴史館蔵)より

豊の人々は地元民のようで、近所の人々が子供を連れて気軽に参拝できる寺であったことが分かります。その一方で、本堂内で手を合わせている男は、笠と杖が脇に置かれていることから、旅人であることが分かります。このようにかかるかや山西光寺は、地元民も旅人も参拝する寺でした。

本堂の右側には庭園があって、石灯籠や井戸が描かれています。また本堂前右側には、「芭蕉翁」と書かれ

た石碑があります。本堂前左側の石碑には、2行に文字が刻まれています。これは「大蛇、小蛇」と呼ばれる大蛇の墓です。

刈萱と石童丸の絵解き

かかるかや山西光寺では、寺の由来を語る絵解きが行われてきました。九州博多出身の刈萱道心は、高野山で修行していた。子の石童丸は父を尋ねて高野山に登り、父とは名乗らぬ刈萱道心の弟子となって修行した。やがて刈萱道心は信濃の善光寺に赴いて地蔵菩薩を刻んで没し、石童丸も善光寺に来て同じように地蔵菩薩を刻んだ。これが、かかるかや山西光寺の本尊、親子地蔵尊であるという物語が、絵解きで語られています。

刈萱塚

刈萱道心と石童丸の墓は、現在は絵のように入口ではなく、境内の左手にあります。刈萱道心の墓は鎌倉時代の古塔といわれ、風化して現在は九層ではなく、五層になってしまっています。時代が下る石童丸の墓は、九層のまま建っています。このほか石童丸の母、千里御前の墓も並んでいて、3基の墓には覆い屋がかけられています。

芭蕉塚

長野県内最古の芭蕉塚(句碑)として知られています。表に「芭蕉翁」とあって、裏側に「雪ちるや穂屋のすすきの刈残し」の句が刻まれています。松尾芭蕉の死後、遺言によりその墓は義仲寺(滋賀県大津市)に建てられました。芭蕉の三十三回忌の時、芭蕉の墓を模した「翁塚」(芭蕉塚)が各地



かかるかや山西光寺の本堂 今年(2023年)は善光寺に合わせて御開帳が行われた

に建てられました。五十回忌の寛保3年(1743)にも「翁塚」が建てられましたが、その中には碑の一部分に芭蕉の句を刻んだものもありました。その一つがかかるかや山西光寺の芭蕉塚です。後世のように表面に句を刻んでいない古い形式の句碑として、貴重なものです。

大蛇の墓

地元のきこりに殺されたという、旭山の大蛇の墓です。大蛇と小蛇の2つの戒名が刻まれています。蛇の墓ということで、金運など特別なご利益があるとされて、信仰を集めています。この墓を動かすと祟りがあると言われています。

石油会社

かかるかや山西光寺は、日本で最初の石油会社が置かれた寺です。長野市浅川真光寺を中心とする一帯は、古くから石油が湧出していました。現在の飯山市桑名川出身の石坂周造は、明治4年(1871)にこの寺を借りて長野石炭油会社を開き、浅川の石油をここで蒸留して灯油を製造しました。この会社は明治8年(1875)に、南石堂町に社屋を新築して移転しました。この絵は、それから間もないころの、再び静寂を取り戻したかかるかや山西光寺の境内を描いているのです。

現在も境内には、大分県出身で長野で没した石油会社社員の墓が残っています。

12月号は「妻科神社」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) [すかい](#)

◆自分や家計の将来の「金銭的不安」

「不安がある」78% 「不安がない」20% 「分からない」2%

「自分や家計の将来に関して、金銭的不安はあるか」を聞きました。

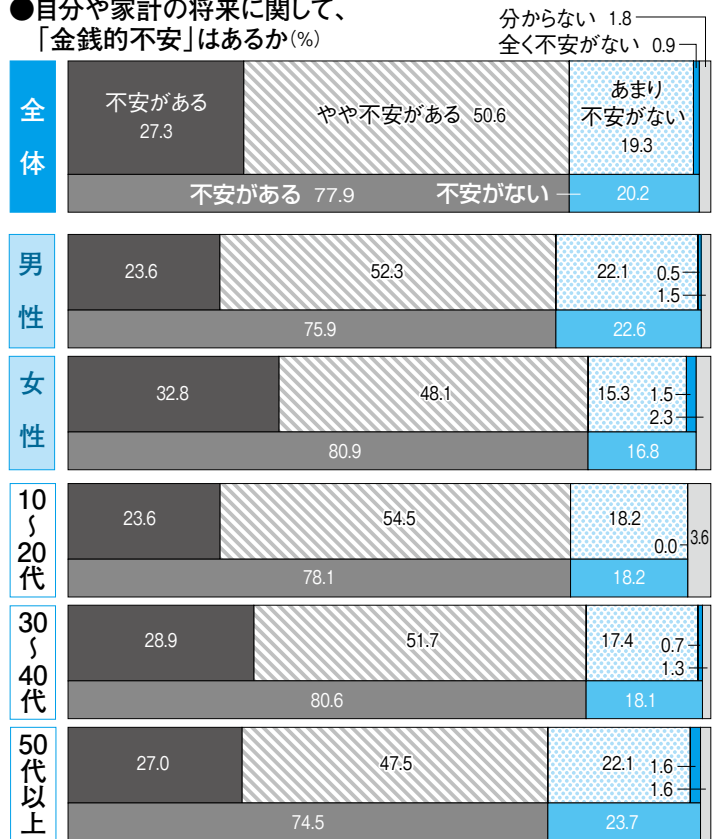
「不安がある」(27%)と「やや不安がある」(51%)を合わせた「不安がある」は8割弱(78%)で、「あまり不安がない」(19%)と「全く不安がない」(1%)を合わせた「不安がない」は20%、「分からない」は2%になりました。

男女別で見ると、男性の「不安がある」は76%、「不安がない」は23%、「分からない」は2%となり、女性は同様に81%、17%、2%となり、全体と比べ大差はありません。

年代別で見ると、10～20代は「不安がある」は78%、「不安がない」は18%、「分からない」は4%、30～40代は同様に81%、18%、1%、50代以上は75%、24%、2%で、世代間で差はありません。

〈当金庫・2022年6月調査〉

●自分や家計の将来に関して、「金銭的不安」はあるか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [12月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
12月 2日 金	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	12月16日 金	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
6日 火	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	19日 月	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
8日 木	長池支店 (大豆島支店)		21日 水	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
9日 金	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	22日 木	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日 火	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	23日 金	本部	
14日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	27日 火	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

